記録課長
副長

編纂掛

寫字掛

長官

副官

事務課長

同課僚

同 副長

起案

五月廿五日

外務大臣子爵 珍田捨巳殿

支那公使館 ポルトガル領事館

外出帶三百十三号

獨逸國人

フランズ エッケルト

本邦義勇軍樂者陸軍ヨリ紹介獨逸國人

二百五十三

1908

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

陸軍省

拝啓去ル三月廿五日附第四号ヲ以テ貴信
御送付ノ件ニ付露国ノ公使館ヲ古谷芝山内閣
書記官ニ信任状捧呈ノ儀ハ既ニ貴国ニ
於テ御承知ノ筈ニ付其ノ儀ハ不必要ト
存ジ候

十二年五月廿五日　長官

外務卿侯爵

外出第三百四十四号

拝啓貴国人フランツ、ヨハケルト氏高等軍事顧問ヲ任ス



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

備ノ拡張ニ三月皆米国ノ二隻ヲ傭
入シ第四隊ノ付属ト為シ一ヶ月我軍艦ニ
同ジク支那沿海ノ警戒ニ当ル旨通報ス
十年九月廿五日　長官
ヒルヒ
追テ本件来航傭船及旅費トシテ軍費ニ五千円
同支那沿海警戒ニ要スル費用ハ
追テ通知ス

二百九十四

1910

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

外出第三百四十五号

三

[illegible]国人フランズ エッケルト 軍事顧問トシテ雇入

[illegible]

[illegible]

十二年四月廿二日 [illegible]

[illegible]

1911

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

軍貳第百七十九号

軍樂教師アッケルトト締約件

右

軍樂教師ヲ傭フヲ義官省ノ中ヘ照約書草案ヲ示シ本邦ヲ情ヲ来ル八月六日ニ通ス可キ旨ヲ本邦ヲ乃傭ノ手順本邦ヲ陸軍省ヲ尚ヲ雇ヲ合ヲ義モ有ル中日中ヲ同ヲ八月中ヲ

外務大臣

外入第三百七十九号

二百九十五

海軍省

外五ノ二十(富崗)

1912

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

[illegible]

十二年五月廿七日

軍務局長

西軍司令官 井澤

海軍卿 川村純義殿

[illegible]

英文ハ別冊ニ綴

1913

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

# ヱッケルト條約書

二百九十六

1914

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大日本海軍卿ノ命ヲ以テ海軍大佐林清康ト日耳曼國軍樂博士「フランス、エッケルト」ト東京ニ於テ取結フ條約左ノ如シ

第壹條

博士「フランズ、エッケルト」ハ此條約ニ因リテ全二個年間大日本帝國海軍ノ軍樂教師トシテ傭入ル可シ

第貳條

同氏東京ニ到着セバ其旨本人ヨリ海軍省ニ報知ス可シ然ルトキハ其日ヲ以テ同氏傭入ノ初日ト為ス可シ

第三條

教授ノ時限及ヒ順序ハ主務局長之レヲ定メ此條約中同氏ハ其長官ノ命令ヲ遵守ス可シ

二百九十七

海軍省

第四條

教授ノ時限ハ午前八時ヨリ十一時三十分マテ午後一時ヨリ四時マテトシ總テ六時三十分間タル可シ

第五條

同氏其教授ノ事ニ付總テノ建言ハ右局長ニ呈シテ其許可ヲ受ク可シ若シ其許可ヲ受ケサル時ハ決シテ之レヲ施行ス可カラス

第六條

同氏若シ日曜日祭日或ハ大日本政府ヨリ布告スル休日或ハ右局長ヨリ同氏ニ許可スル休暇ノ外自己ノ都合ニヨリ其職ヲ勤メサル時ハ其日數ノ給料ヲ引去ル可シ

第七條

此條約中同氏ニ日本ノ家屋一宇ヲ無賃ニテ貸與シ其緊

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

要ナル修繕ハ海軍省ニ於テ為ス可シ然レモ同氏ノ好モヲ以テ其模様換ヲ為ス時ハ同氏自費ニテ之ヲ辨ス可シ食物家具從僕等モ亦同氏ノ自費タル可シ

第八條

同氏ノ給料ハ一ヶ月日本貿易銀貨貳百圓トシ始メ海軍省ニ報知シタル日ヨリ之レヲ給與シ此條約ノ初月及ヒ滿期ノ月ハ其奉職シタル日数ノ給料ヲ授與シ自餘ノ月ハ毎月々末ニ其全額ヲ授與ス可シ

第九條

同氏日耳曼ヨリ大日本國ニ來航スル船賃及ヒ旅費トシテ日本ノ貿易銀貨ニテ五百九拾六圓ノ金額ヲ海軍省ヨリ領収ス可ク又此條約滿期ニテ本國ニ帰航スルトキモ其船賃及ヒ旅費トシテ右同金額ヲ同氏ニ給與ス可シ





国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十條

同氏若シ公務ノ為メ旅行ヲ命セラルヽ片ハ大日本政府ニ奉職スル歐羅巴人ノ為メニ定メタル旅費規則ニ從テ同氏ニ加俸ヲ給ス可シ

第十一條

同氏此條約中ハ貿易或ハ商業ヲ為ス可カラス又之レニ関係ス可ラス

第十二條

同氏若シ命セラレテ艦船ニ乗組ム時ハ給料ノ外ニ食料トシテ日本貿易銀貨ニテ毎月五十圓ノ加俸ヲ領収ス可シ

第十三條

同氏若シ自己ノ都合ニヨリ此條約満期前海軍省ノ准許



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヲ得テ辞職スル時ハ其日ヨリ同氏ニ給料ヲ授與セス又船賃及旅費ヲモ給與セサル可シ

第十四條

同氏若シ行状不善ニシテ勤務ニ適セサルカ或ハ過失アル時ハ此條約ヲ廃シ其日ヨリ給料ヲ授與セス又船賃及ヒ旅費ヲモ給與セサル可シ

第十五條

同氏若シ疾病ニ罹リ三個月間其職ヲ執ル丁能ハサル時ハ其初月ノ給料ハ全額ヲ領収ス可シト雖モ自餘ノ二個月ハ半額ヲ給與ス可シ若シ三ヶ月ヲ経テ尚病癒サルトキハ此條約ヲ廃シ其日ヨリ給料ヲ授與ス可カラス然レモ前條ニ掲記スル船賃及ヒ旅費ハ之ヲ給與ス可シ

第十六條



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1921 1920

[illegible]

同氏若シ其職務上ニ受傷害ヲ受ケタル時ハ海軍軍醫ヲ以テ治療ヲ為サシメ此條約中其給料ヲ授與ス可シ同氏若シ急病ニテ死去スルカ或ハ其他不慮ノ災ニ罹リ死去シ其屍ヲ最近ノ[illegible]領事ニ交付シ其日ヨリ此

五位勲等林 清康

フランズ、エウゲルト

エム、エム、ベール

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1921 1920

同氏若シ其職務上ニ手傷害ヲ受ケタル時ハ海軍軍醫ヲ以テ治療ヲ為サシメ此條約中其給料ヲ授與ス可シ同氏若シ急病ニテ死去スルカ或ハ其他不慮ノ災ニ罹リ死去スルトキハ其屍ヲ最近ノ日耳曼領事ニ交付シ其日ヨリ此條ヲ廢シ給料ヲ授與セサル可シ

右之條々雙方堅ク可相守者也

年　月　日

大日本　海軍大佐從五位勲四等林　清康

日耳曼　軍樂博士　フランズ、エッケルト

證人　エム、エム、ベール

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp